

コラム 新規上場企業

No.2

2016年5月22日

Office IP Edge 代表 弁理士 原田正純 (Masazumi Harada)

【企業概要】

会社名	ハイアス・アンド・カンパニー株式会社
設立	2005年3月31日
上場	2016年4月5日（東証マザーズ）
本社	東京都港区
社員数	92名（2016年4月25日現在）
主な事業内容	(1) ビジネスモデルパッケージ ・工法事業モデル（住宅建設に関連した工法） ・住宅事業モデル（新築や増改築の建築技術） ・不動産事業モデル（不動産の売買やノウハウ） (2) 経営効率化パッケージ ・経営効率化ソリューション（営業活動プロセス効率化や教育）
売上高	2,686百万円（2015年4月期）
経常利益	98百万円（2015年4月期）

（ハイアス・アンド・カンパニー株式会社のホームページより抜粋）

ハイアス・アンド・カンパニー株式会社の理念は下記のとおりである。

“個人が住宅不動産を納得し安心して取得（購入）、居住（運用）、住替（売却）できる環境をつくること”、“住宅取得が個人の資産形成に直結する社会の実現”

この理念に基づいて、自社の顧客である地域の工務店や専門工事会社に、工法事業モデル、住宅事業モデル及び不動産事業モデルのビジネスモデルパッケージを提供している。

【国内知的財産権の状況】（情報検索はJ-PlatPatより）

特許出願が1件ある。

特開 2016-62335

発明の名称「情報処理装置、情報処理方法、情報処理プログラム」

住宅販売者によって販売される住宅に関する複数の住宅構成要素について、前記住宅構成要素毎に、前記住宅の取得者の建築前の要望、現在の状況、現在の願望に関する質問に対する回答を取得する取得部と、前記住宅構成要素毎に、前記回答に基づく値、及び、要望化段階、可視化段階、具現化段階を含む住宅建築プロセスの段階に基づく所定の重み付けを乗算することで、前記住宅構成要素毎の、要望化段階の実現度である要望化実現度、前記可視化段階の実現度である可視化実現度、前記具現化段階の実現度である具現化実現度を算出し、前記住宅構成要素毎の要望化実現度、可視化実現度、具現化実現度を、それぞれ、加算することで、前記住宅販売者によって販売される住宅に関する要望化実現度、可視化実現度、具現化実現度を算出する算出部と、を備える、情報処理装置とする。

商標権は 54 件ある（他社との共有含む）。その内、2 つを紹介する。（指定商品・役務は省略する。）

第 5428634 号

登録商標「地盤.jp」

「地盤.jp」というホームページを運営し、地盤改良の情報等を提供している。

第 5724247 号

登録商標「エコルフ」

予算が低下している若年層や、限られた予算の中で建替え・修繕を行いたいというシニア層にターゲットを絞り、本体価格 1,000 万円から提供できる高品質で低価格なプロダクトハウスシリーズ。

【ビジネスの展望など】

ハイアス・アンド・カンパニー株式会社が挙げている、日本における住宅不動産の問題点は、「①資産でなく耐久消費財的な扱いを受けていること」、「②リスク判断を十分に行わないままに購入意思決定をさせられることが普通になってしまっていること」である。確かに、①については、個人で住宅を取得すると、20～30 年後には、住宅の価値はほぼゼロになっていると思われるし、②については、新築マンション購入時は実物が完成する前に売買の契約が済まされることが多いという事実がある。

ハイアス・アンド・カンパニー株式会社は、自社の顧客である地域の工務店や専門工事会社に事業ノウハウ・システム・サービスを提供し、実際の営業や施工を行ってもらい、一般消費者が直面している上記①及び②の問題を解決していくことをビジネスモデルとしてい

る。

ハイアス・アンド・カンパニー株式会社の国内知的財産権の取得状況は商標権 54 件であった。ソリューションビジネスという特徴から、技術的な特許を取得することは難しく、様々なサービスに対して積極的に商標登録出願を行っている姿勢が窺える。

日本における住宅不動産は、今後の人口減少という日本が直面する課題をそのまま直撃する分野である。空き家、新築の供給過剰、中古住宅市場が活発でないことなど、多くの問題がある上、生涯で最も高い買い物である住宅取得で本当に満足感を得られた人はどのくらいいるのだろうか。

ハイアス・アンド・カンパニー株式会社には、多くの日本人が感じていると思われる、不動産業界の専門家と一般消費者との間の「情報の非対称性」をどんどん減らし、一般消費者が自信を持って、納得感が得られる住宅不動産を少しでも多く提供できるように、自社の顧客である地域の工務店や専門工事会社を巻き込んだ高度なソリューションビジネスを築き上げてもらいたいと思う。

以上